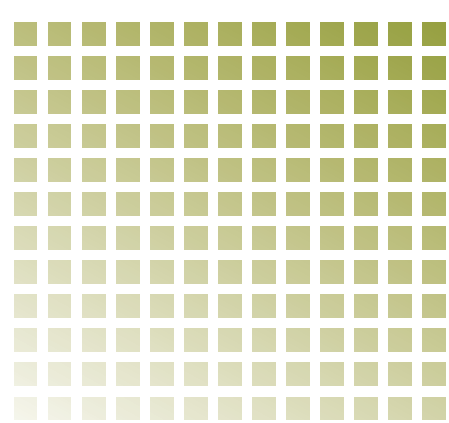


議会だより おかがき

No.124 12月定例会 令和2年1月25日発行



2～3 ● 住民懇談会「議員と語ろう」結果
8～11 ● 町政を問う

表紙への想い 元気に餅をつく子どもたち(内浦小餅つき)

住民懇談会「議員と語ろう」結果

参加27名(アンケート回答者26名) 男性20名・女性6名
40歳代—2名、50歳代—1名、60歳代—14名、70歳代—1名、記載なし—8名

第1ラウンド 「町の人口減少にかかる問題点」

いちばん多かった意見は？



- ・ 高齢者が多い
- ・ 子どもが成長したら進学や就職で町から出ていく



第2ラウンド 「どうしたら人口減少に歯止めがかかるか」

いちばん多かった意見は？



- ・ 岡垣町の良さや観光を町外にもっとPRすべき
- ・ 子育て支援・教育の充実をすべき





参加された皆さんの声



また参加したいですか？

参加したい・・・19名

- ・地域の意見を聞いてもらえる。
- ・みんなで話すのは楽しい。

参加したくない・・・1名



スマホで読み取ると
ホームページにつながるよ



今後も開催してほしいですか？

開催してほしい・・・21名

- ・地域の意見をきいてもらえる。
- ・いろいろな問題を話し合うべきだ。

開催してほしくない・・・2名

- ・今回の問題は、大きな課題である。
- ・参加者が少なくて意味がない。

これまでの住民懇談会と比べて？

良かった・・・12名

- ・議員さんたちとテーブルを囲んでの話し合いは、とても親近感ができて良かった。

悪かった・・・2名

- ・自分の意見を通そうとして他の意見を否定するようなところがあり嫌だった。

初めて参加した・・・12名

- ・現実を見直すことができた。



開催回数は？

年1回 9名
年2回 12名
その他 4名



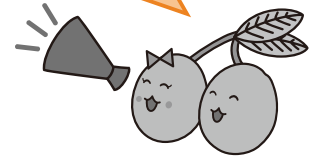
その他多くの意見をいただきました

- 若い人が集まりやすい時間をつくる。
- 年齢差があり、話が合わない。年代別に開催しても良いのでは。
- 参加者を増やす方法を検討すべき。参加者名簿を提出してもらおう等。
- 昨年意見交換で出された中で、議会質問に至った例はあるのだろうか。単なる町への意見メッセージに終わったのではないか。
- もっと議員の考えなどを聞きたかった。
- 今日の意見を議会に生かしてほしい。

皆さんからの貴重な意見は、とりまとめを行い、希望する参加者に送付しました。また、12月13日の全員協議会において、全ての議員と町長をはじめとする執行部と共有しました。

18日までの13日間の日程で開かれ、号)を含む議案16件、請願1件、意た。

条例の改正と請願の内容だよ。ここでは3つ紹介するね。



情報プラザ、サンリーアイの使用料金の引き上げへ



岡垣町の行政改革推進計画で、施設の老朽化等に対する修繕費の増加により、受益者負担を大きく下回っている施設や近隣市町に比べ使用料が著しく安価な施設は、使用料の改定を行うとしています。それに伴い、使用料金が引き上げとなります。

※賛成・反対討論は6ページに掲載しています

民間宅地開発 奨励金の廃止へ



町は、せせらぎの郷、山田峠の宅地開発に奨励金を出しています。今後は奨励金を廃止し、空き家対策や中古住宅利活用に軸足を移していく予定です。

全会一致で請願を採択

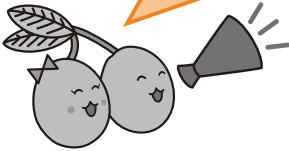
主要農作物種子法にかわる
福岡県独自の条例制定を求める請願



※請願を採択し、意見書を県に提出しました。
詳細は11ページへ



一般会計補正予算の主な内容は、
子育てを応援するものだよ！



第4回定例会が12月6日から12月
令和元年度一般会計補正予算（第3
見書1件が上程され慎重審議しまし

4月から役場内に新しい課を設置へ 945万円



令和元年10月、子育て世代包括支援センターが設置されました。令和2年4月から、子育てに関する諸課題に対して、課の枠組みを超え横断的に対応します。また、妊娠・子育てに関する窓口のワンストップ化が図られることとなります。

吉木小学校がプログラミング教育へ 264万円



令和2年から小学校でプログラミングの学習が始まります。それに先立って、福岡県では小学校8校が選定され、吉木小学校も選ばれました。

※プログラミング教育とは、パソコンだけでなく順序だてて考え、ものごとを解決する力を養う教育のことです。



情報プラザとサンリーアイの 使用料を引き上げます。

反対

住民の福祉を後退させる

平山 正法 議員

公共の施設は地方自治法によって、住民の福祉を増進する目的を持っており、誰もが自由に使う権利を持っている施設である。公平性を持ち出して利用する者に負担を押し付けるようなことはすべきではない。また、施設の使用料引き上げは、利用したくても利用できない住民を生み出すことになる。

収入に関わりなく、住民一人一人が等しく公の施設を利用できるようにすることが、自治体行政における公平性ではないか。

したがって、今回の使用料の引き上げは、住民の福祉を後退させてしまうものであることから反対する。

賛成

より利用しやすい施設を目指して

川地 啓輔 議員

パソコン室・研修室・会議室の利用料金を変更するのは大変心苦しいが、平成16年5月の開館から2度の消費税増税がありながら料金改正は行っておらず、また近隣の市町村と同様施設とも比較しても安価な料金設定となっている。施設の老朽化・維持管理も含めた運営コストが増しているのが現状である。

情報化社会が進化するにつれ設備等もそれに合わせて対応していく必要がある。

駅前という立地条件を生かした有効活用、また学生などが自習等でもっと来館しやすい環境整備など、利用客が減らず満足度が落ちない取り組みを期待して賛成する。

適正な見直しである

安里 雅恵 議員

岡垣サンリーアイは、ホール、会議室、ウエーブアリーナ、ジム、公園等様々な施設が一つの場所にある複合施設として多くの方に利用されている。

しかし岡垣サンリーアイの施設利用料は26年間見直されることなく経過している。施設は日々の管理費だけではなく、建物のメンテナンスに支出が大きく必要となってきた。

これまでの町の会計に頼るだけでなく、利用する私たち一人一人も少しずつ負担をすることで、きれいで気持ちよく長く利用できるようにしていくために賛成する。

行革推進に必要な値上げ

太田 清人 議員

本議案は、行政改革推進計画の「公共施設使用料の見直し」の改革方針に基づき実施されるものである。

慢性的な赤字が続く町の財務体質を改善するには、行政改革は喫緊の課題であり、全体的には小さな額でも、一つずつ積み上げていく、そのことが重要と考える。

また、サンリーアイの使用料は、開館以来26年間も据え置かれており、宗像ユリックス等、近隣の類似施設と比べても割安で、受益者の負担割合は低く、その観点からものは正の必要あり、と思われる。今後、住民が十分納得できる使用料の検討・設定を要望し、賛成する。



議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	木原 大輔	市津 広海	太田 清人	曾宮 良壽	太田 強	平山 正法	横山 貴子	安里 雅恵	神崎 宣昭	三浦 進	広渡 輝男	川地 啓輔
岡垣町固定資産評価審査委員会委員の選任について	12/6	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町教育委員会教育長の任命について	12/6	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町民間宅地開発奨励金の交付に関する条例を廃止する条例 (P4 関連記事)	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町東部出張所設置条例の一部を改正する条例	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町情報プラザ人の駅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 (P4・P6 関連記事)	12/18	賛成多数 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
岡垣サンリーアイ設置条例の一部を改正する条例 (P4・P6 関連記事)	12/18	賛成多数 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
岡垣町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町会計年度任用職員の勤務時間及び休日、休暇等に関する条例の制定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住居表示に伴う字の区域及び名称の変更について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町一般会計補正予算（第3号） (P5 関連記事)	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町水道事業会計補正予算（第2号）	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町下水道事業会計補正予算（第1号）	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町情報プラザ人の駅の指定管理者の指定について	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
主要農作物種子法にかわる福岡県独自の条例制定を求める請願 (P4・P11 関連記事)	12/18	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
主要農作物種子法にかわる福岡県独自の条例制定を求める意見書	12/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は地方自治法の規定により議決には加わりません。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員氏名	内 容
9	太田 清人	1. 平成 30 年 2 月に策定した岡垣町行政改革推進計画の進捗状況、現在までの成果等について
9	曾宮 良壽	1. 次期総合計画策定について（その 2）
10	川地 啓輔	1. 町の情報発信について 2. 商工業の振興について
10	平山 正法	1. 介護及び認知症予防について ◇2. ジェンダー平等社会の実現へ
11	安里 雅恵	1. 町民の命を守るために

◇はこの議会だよりに掲載できなかった質問です



太田 清人 議員

議員

行政改革の進捗状況は

町長 本年度6千4百万円の財政成果を見込む

町長の財政規模が年々膨らみ、赤字基調が続いています。その改善のため、平成30年2月に策定された「行政改革推進計画」、その概要、取り組み状況についてお尋ねします。

町長 今回の計画では、厳しい財政状況の早期改善のため、課題を絞り込んでいきます。

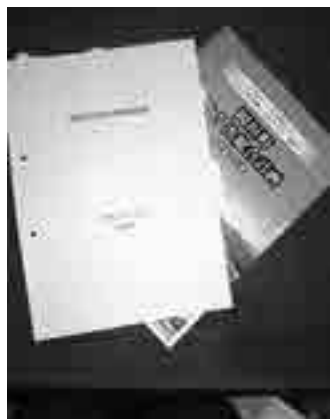
主には「受益と負担の適正化」、「町有財産の有効活用」、「職員人件費の見直し」、「継続した事務事業のスリム化」等をその柱としています。

平成30年度には人件費の見直しやスポーツ施設使用料の見直しを行い、その他の取り組みについては、順次実施しているところですが。

町長 現在までの成果はいかがですか。

町長 平成30年度は、町有地の早期売却で5千6百万円の一次的な収入があり、経常ベースでは経費削減・歳入増加で約2千8百万円、本年度で6千4百万円の財政的な成果を見込んでいるところですが。

町長 赤字額の解消までには相当な開



着実な実行を



※「行政改革推進計画」は町のHPで閲覧できます

きがありますが、今後それをどう埋めていきますか。

町長 令和3年度には、この取り組みにより赤字削減額が年間2億円程度と一定の成果が上がると予測されますが、それでもなお、充足されない状況にあると思われます。

基金の取り崩しに頼らない財政運営への転換は難しいとも考えますが、その実現に向け、本計画の着実な実行のほか、公共施設の統廃合、広域連携による事業効率化を見据えた対応等に、総力を挙げ取り組んでまいります。



曾宮 良壽 議員

議員

上下水道事業の将来の計画は

町長 更新計画の中であらわしていきたい

町長 岡垣町の人口は平成22年をピークに減少してきます。町のさまざまな計画を進めていく上で将来人口は重要な要素です。次期総合計画策定に当たり、人口想定について町の基本的な考え方についてお尋ねします。

町長 次期総合計画の策定作業については、今年度は住民アンケート調査などの現状把握を中心に進め、来年度本格化させる予定です。人口想定については、国による人口推計を基に、50年後の目標人口を定めている現在の人口ビジョンとの整合を図る観点からも、40年程度の人口推計を踏まえた設定を行いたいと考えています。

町長 これから先、ライフラインである上下水道の維持や管理は前の総合計画策定時より重く大事になってきていると考えられます。上下水道事業の将来計画については、次期総合計画の中でどのようにあらわすのですか。

町長 水道施設の将来計画は、本年度から2年をかけて水道台帳整備を行い、それを基に更新計画を策定し、老朽施設の計画的な更新を進めていく予

定です。下水道施設についても、各所で老朽化が進行しており多額の改築更新費用が見込まれます。今後、人口減少に伴う収益の減少が見込まれる中、次期総合計画では重要なライフラインである上下水道事業を将来にわたり安定的に運営していくための方向性を示し、詳細な施策については、上下水道事業の更新計画の中であらわしていきたいと考えています。



浄水場からおいしい水を



川地 啓輔 議員

議員

観光・商工業の振興について

町長

地域の活性化・観光振興に取り組

川地 町内外への観光認知度を上げるためにどのような取り組みを行っていただきますか。

町長 ホームページやSNSなどをはじめさまざまな媒体を活用して町内外に観光情報を発信しています。また、民間が開催する集客力のあるイベントと連携した取り組みを行うなど、今後も町のPRに努めます。

川地 子どもたちが歴史を学び知るといふ教育的観点から、また、歴史を継承するまちおこしの観点からも旧唐津街道の案内看板等を設置されてはどうでしょうか。

町長 旧唐津街道の存在については、歴史文化研究会と連携し、広報おかがきやホームページなどで周知を図っていくとともに、説明板等の設置についても協議していきたいと考えています。

川地 町内事業者の事業承継支援・起業支援はどのように行っていますか。

町長 後継者育成支援事業、商工業振興事業等に対して補助し、経営支援を行っています。町と商工会がそれぞれの役割のもと、商工業の活性化のため

連携した取り組みを行います。

川地 地場産業発展へどのように取り組みますか。

町長 各種公共工事の発注については、その内容にもよりますが、地場産業の育成の視点を基本としており、資材や物品等を購入する場合には、できる限り町内の事業者から購入するように努めています。町としては、引き続き、町内事業者の経営を支援し、地場産業の振興・発展に努めます。



(左) 旧唐津街道と (右) 旧国道3号



平山 正法 議員

議員

交付金の有効活用を

町長

今後も有効に活用する

平山 国は来年度の当初予算案で、介護の予防や自立支援に成果を上げた自治体に配分する交付金を、400億円程度に大幅拡充させると報道がありました。この予算を活用すれば、自治区が実費で行っている介護予防や認知症予防の催しに対して助成ができるのではないのでしょうか。

町長 岡垣町では、認知症予防に関するさまざまな事業を実施しています。その事業の主な財源は、介護保険の地域支援事業交付金を活用しており、これに関連して交付されている保険者機能強化推進交付金は、国の来年度予算で拡充について検討されています。拡充の内容はまだ明らかになっていませんが、今後もこれらの交付金を有効に活用し、対象事業を実施していきます。

平山 年齢を重ねると耳が遠くなる加齢性難聴は、高齢者の日常生活を不便にし、認知症等の危険因子になることが指摘されています。補聴器は、片耳当たり1台15万円から50万円と高額です。高齢者からも、高くて買えないという声が聞かれます。認知症予防のた

め、加齢性難聴による補聴器購入の補助をすべきでないでしょうか。

町長 認知症と難聴の因果関係や、聴力補正による認知症予防の効果については、医学的な根拠が十分に確立されていない状況です。今後、医学的な研究が進んでいくことと思いますが、認知症や加齢性難聴は全国的な課題であり、その対策については国において講じられるべきであると考えます。



国の対策に期待



安里 雅恵 議員

議員

町長

防災の備えを

今後も取り組んでいく

安里 災害は必ず起こると想定して「備える」ことが大切です。昨今、町内でも土砂崩れや冠水などの災害が発生しましたが、ハザードマップの見直し予定がありますか。

町長 本年5月に矢矧川の洪水浸水想定区域が見直されたことなどから、来年度に更新を予定しています。

安里 近所の助け合いが人的被害を軽減します。町内には自主防災組織がどれくらい設立されていますか。

町長 現在、町内55の自治区のうち32の自治区で設立されています。まだ設立されていない自治区に対しては、設立に向けた働きかけを今後も行っていきます。

安里 要支援者名簿の更新や登録はいつ行われていますか。

町長 災害時の避難に支援を要する要介護認定を受けた高齢者や障害のある方を対象に、年に一度12月に案内を送付して手続きをしています。

安里 何人くらい登録していますか。

町長 昨年度末時点では805人の登録がありました。



令和元年8月29日の戸切ガード下

安里 要支援者に対して、支援者は何人くらいいますか。

町長 支援者登録があるのは294人です。

安里 災害の規模が大きくなればなるほど、自助・共助が重要となります。住民が日頃から災害に備えておくよう町から働きかけを行っていますか。

町長 町では、災害が発生した時に被害を最小限に抑えるための取り組みを進めています。今後も自助・共助・公助の適切な役割分担による防災体制の構築に取り組んでいきます。

議会のミニ知識 “請願”

町政などについて意見や要望があるときは、誰でも町議会へ提出することができます。議会の意思において住民の要望が反映されるため、請願の提出には紹介議員を必要とします。

「今回の定例会に出された請願」

1. 内容

福岡県では、平成30年4月1日の主要農作物種子法の廃止後も、種子の安定供給に関する基本要項を制定して、以前と同じ取り組みを継続しています。しかし、主要農作物の安定供給、品質確保のためには、内部規則にすぎない要綱ではなく、法的により強い条例の制定を求めるものです。

2. 審査の方法

(1) 本会議への上程・委員会への付託

この請願は、3名の請願人から連名で提出され、2名の紹介議員の説明により本会議において上程されたのち、総務産業常任委員会へ付託されました。

(2) 委員会での審査

所管である総務産業常任委員会において、紹介議員と請願人を招致し、審査した結果、この請願を採択するべきであると決定し、本会議へ報告を行いました。

(3) 本会議での採決

本会議において全会一致で採択しました。この採択を受けて、議員2名から意見書提出の発議がなされ、この発議も全会一致で可決したため、意見書を福岡県知事あてに提出しました。

委員会視察研修・活動レポート

議会活性化の取り組みについて

議会運営委員会

日時 令和元年11月26日～27日
 視察先及び目的
 ・ 神奈川県大磯町
 ・ 議会活性化の取り組み
 ・ 神奈川県箱根町
 議会改革の取り組み

大磯町議会では、平成16年からケーブルテレビによる議会の可視化や、政策提言として議員提案による条例制定を行うなど議会改革が行われてきました。

この取り組みは、積極的に情報を発信することによって、町民から信頼され存在感のある議会が築かれ、豊かなまちづくりができるとの考えが共有されているのです。

平成20年に全国町村議会議長会から表彰を受け、さらにこれまでの取り組みを明文化するため、平成21年に「議会基本条例」が制定されました。

また、平成15年から女性議員が半数以上となり、その声が届きやすい環境となっています。

箱根町では「町民に開かれた議会・町民参加を促進する議会」

町民に信頼される議会」の実現に向け議会改革に取り組んできています。各常任委員会を毎月2回開き、テーマを決めて調査研究を行い、報告書も発行し、議会だよりやホームページで情報発信を行っています。

設備面も、委員会室の隣にキッズルームも併設されているなど、傍聴のしやすい環境が整っていました。

岡垣町議会も議員全員で議会活性化に取り組んでいます。



箱根町

駅周辺の再生と公共交通の充実

総務産業常任委員会

日時 令和元年11月13日～14日
 視察先及び目的
 岩手県紫波町
 ・ オガールプロジェクト
 ・ 公共交通の取り組み

岩手県紫波町は、国土交通省が提唱する立地適正化計画を策定し、「都市再生整備計画事業」に取り組まれています。

JR紫波中央駅前地区には町が所有し、長年未利用となっていた公共公益施設用地を有効利用するために、公民連携手法を活用した事業「オガールプロジェクト」を展開され、町の規模に合った公共施設の整備と民間施設等の立地などの経済開発の総合開発事業などがほぼ完了しています。

あわせて、コミュニティバスから全面的にデマンド交通システムへ切り替えに取り組みされており、その背景と現状について調査しました。紫波町は岡垣町の約4・5倍の面積

積を有しており、広大な面積の交通ネットワークの課題と対策を調査しました。

コミュニティバスは、平成15年に運行開始し、町民の日常生活の移動手段として生活を支えてきましたが、運行业務を受託している民間事業者から、運転手不足により継続は困難との申し出を受け、既存の形態にとられない新たなデマンド型乗り合いバスによる実証実験が行われ、令和2年4月から紫波町デマンド型乗り合いバスの本格的運行に向けて取り組みようとしています。

JR海老津駅周辺の再生や、公共交通の充実に向けた委員会の活動に生かしていきます。



オガールプロジェクト (図書館)

議会の動き

前回定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
10月10日 ～11日	議会広報	視察研修（始良市：議会だよりの編集・議会報告会）（指宿市：議会報告会）
10月21日	研 修 会	遠賀郡町議会議長会議員研修会
11月13日 ～14日	総務産業	行政視察（紫波町：オガールプロジェクト・公共交通）
11月15日	総務産業	地方創生について 他
11月19日	議会広報	議会広報研修会（福岡県自治会館）
11月26日 ～28日	議会運営	視察研修（大磯町：議会改革）（箱根町：議会改革） 国会議員表敬訪問
12月 6日 ～18日	本会議・委員会	第4回定例会（13日間） 本会議・一般質問・委員会（連合審査会）・全員協議会
12月18日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会
12月26日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会
1月 7日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会

どうぞ
傍聴席へ

次の定例会は

3月3日(火)
開会の予定

会議録を
閲覧してみませんか

岡垣町議会

<http://www.town.okagaki.lg.jp/090/>



住民懇談会の充実に向けて

議会広報常任委員会

日時 令和元年10月10日～11日

視察先及び目的

・鹿児島県始良市

議会報告会

議会だよりの編集

・鹿児島県指宿市

議会報告会

始良市の議会報告会は、始良・蒲生・加治木の旧3町で年2回実施されています。第1部では、議会報告、第2部では住民との意見交換を行っています。

住民からの意見は、各委員会に分類して、議会として対応できるかどうかを整理した後に、コミュニティの会長に返しているそうです。

議会だよりは、旧3町の長所を持ち寄り、日本一に輝いたことがある旧始良町のノウハウをベースに編集しています。特に、予算報告では、市の財政を家計簿に例え、わかりやすく掲載するなど、参考にする部分が多くありました。

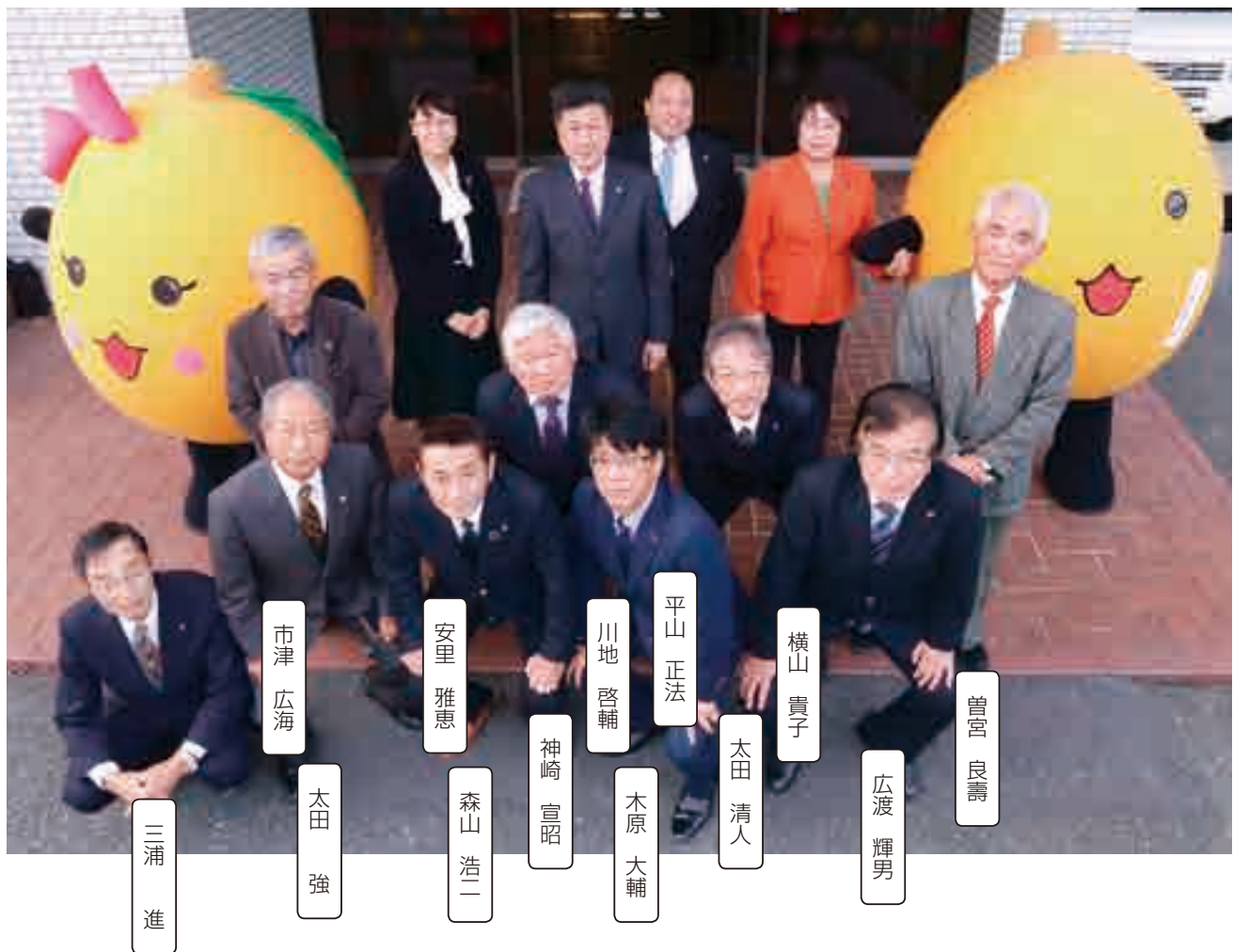
指宿市では、議会報告会「議会と語るかい」を5月に2回開催しています。1回の開催で2、3会場に分け、各会場テーマを変えて実施しています。指宿市でも、第1部は議会報告、第2部は住民との意見交換を実施しています。特徴としては、子育て支援がテーマの会場に託児スペースを設置していたことです。

いづれも、参加者の拡大や年齢層の偏りなど、岡垣町と共通の課題などがありました。今後は、住民の皆さんの意見をどのように議会で取り上げていくのかを検討するとともに、課題の解決に向けて、委員会でも協議していきます。



始良市

令和2年 あけまして おめでとうございます



岡垣町議会議長
森山 浩二

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年は、天皇陛下御即位により平成から令和へと元号が変わり、またラグビーワールドカップにおける日本チームベスト8など歴史的な出来事に立ち会うことができました。

議会も4月の改選後、所属委員会や役職も新し

くなり、ONE TEAM (ワンチーム)で活動しています。新年を迎え、私たち議員一同、決意も新たに魅力あるまちづくりに、全力を尽くしてまいります。

今後とも皆様方の議会に対するご理解ご協力をお願い申し上げます。

